

# 水産新聞

平成18年9月11日(月曜日)掲載

## 水産加工場の人手確保

人材派遣業のアスクゲート

### 道内拠点網でニーズに対応



斉藤三寛社長

ホタテ、秋サケ加工などの繁忙期に水産加工場で人手確保に苦勞していることに着目し、今年から事業対象を水産加工にも広げたのが、人材派遣業の株式会社アスクゲート(札幌、斉藤三寛社長)。道内の12市と東京に支店を構える拠点網で展開しており、水産分野でのニーズにも応えていく。

道内漁村部では若年層の流出、人口の高齢化などが進み、加工場では繁忙期に地元、近郊からの人手確保が難しく、道内外からの季節労働者、外国人研修生の受け入れなどで対応しているところもある。

同社は今年2月に北見支店を開設、オホーツク地区での営業活動の中で、水産加工場から要請を受け、網走、紋別の計2社に50〜60人を派遣した。マ

ンションの一種借りなどで宿泊先も用意している。人材派遣は加工場からの申込みを受け、作業内容や人数、期間などを話めて契約。同社が募集、面接を経て採用し、派遣加工場は派遣料を支払う流れ。募集時の経費負担は発生しない。

作業はホタテの殻むきや選別、秋サケの熟煎、燻出し、卸しなど全般。技術指導、研修は加工場が行う。

同社では「加工場が独自に広域的に募集するには、それだけで広告費などの経費がかかる。当社は募集、採用に当たる拠点を多店舗展開しており、そのネットワークとこれまでのノウハウで、水産分野でも人材確保の負担を軽減できれば」と話す。

同社は人材の荷揚げ作業に必要なアルバイト集めから始まり、物流センターでの仕分け、農家の収穫作業などさまざまな業種の軽作業員の派遣を手掛けている。

もその1分野だが「ニーズは高く、これから伸びていきたい分野と位置づけている。」

「問い合わせ先」

▽アスクゲート 札幌市白石区平和通7丁目北14-39、電話011-868-8606、FAX 011-868-8607